

# 女子的☆キャリア図鑑2

曾根原容子さん

(女性活躍コンサルタント)

## 「女性活躍のヒント」

2016.12.14

### 私の自己紹介

マッサージ・鍼灸師の資格取得後、東洋医学と美容の融合に興味を持ち、東洋美容のスリムビューティハウスに入社。入社一年後には営業成績で全社員トップに。その後、若千二十九歳で西日本統括部長となり、のべ六十店舗以上の組織を動かして、売り上げ十億だった同社を二百億円の組織に成長させ、会社の全盛期を築いた。現在は東洋医学とアロマセラピーを融合させたサロン二店舗とネイルサロン・パーソナルストレッチサロンを運営するのと同時に、エステティシャン、アロマコーディネーター、ネイリスト、リフレクソロジーを育てるための総合美容学校「静岡ビューティカレッジ」を経営。講演活動も活発に行い、女性のキャリアアップ支援や女性社員の教育研修などを手がけている。平成十五年には、女性で初めて「沼津商工会議所青年部」会長を務め、今年度はさらに「NPO法人 Woman's サポート」を立ち上げるなど、女性活躍における様々な支援をしている。

### 女性で起業したい方の為に

専業主婦の割合が40%を切り、女性が社会に出て活躍する世の中となりつつある。しかし、一

〇一五年女性活躍推進法が施行されたにも関わらず、この世の中に出て活躍して行けばいいのかわからない女性が多いのが現実である。男性が作り上げた社会は、過程ではなく結果を求められる社会が現実なのである。そこで、起業をし、様々な私の起業経験を参考に、足踏みをしている女性に勇気を持って世の中に出てほしいと思っている。

勤めていたスリムビューティハウスでの実績もあり、一九九九年の十月に独立しエステの店をオープンした。そこでは自分なりの経験をもとに、経営をし、必ず成功できると思っていたが、そうではなく、以前の自分の信用はスリムビューティハウスの看板にあり自分にあつたものでない事を自覚した。そんな時、大手のエステサロンが倒産するなど、それらの波を受けた頃、スリムビューティハウスのオーナーから一本の電話が入り、また戻ってくるように声を掛けていただいた。人生にターニングポイントがあると云うならば、まさにこの時だった。今のお客様に迷惑がかからないように心がけ、翌年の二月には閉店した。

ここで学んだのは引き際がいかにか大事かということだ。オープンしても出来るがクローズするタイミングが大切であるということだ。オープンする時に、どのくらいマ

イナスになったらクローズするかという設定を決めて置くことが大切だと思う。お金・人・その他の条件が揃えば

また、オープンすればいいのである。引き際さえ間違えなければ、また、再チャレンジはできる。

### 仕事をやる前に必要ないこと

一番目として、自分の土合をしっかりとすることである。「他人を変えることは出来ない」、過去を変えることは出来ない。しかし、これからどんな人生を送るか、六十歳になった自分をどのように描くかが大事である。

二番目として、目指すところを明確にするということである。「いつなりたいか」「何をしたいのか」「その先の目的は何か」その想いが強ければ強いほど実現可能になる。起業して三年続く店は10%にも満たない現状の中、失敗する人は何となく始めた人や、趣味の範囲から抜け出せないプチ起業の人が多くいる。最初にしっかりとしたビジネスプランや資金計画を持たないと、その後上手くいくものも上手くいかない。最初に動き出す時には一番力が必要だが、いったん動き出せば後は少しの力で大丈夫。後は周りの力を借り、人を巻き込み押ししていくだけである。



若者のためのキャリアデザイン支援室  
f きやる  
TEL/FAX:0545-32-6958  
協力株式会社アイ・マロード

